

お子さんの学校生活について悩んでいませんか？

常陸大宮市教育支援センターをご利用ください ～7月3日オープン～

「朝、学校に行く時間になるとお腹が痛くなってしまふ」、「登校しづりにどう関わって良いか分からない」、「友達とうまくつきあふことが苦手」、「学級で自分の意志を表現するのが難しい」など、お子さんの学校生活に関することで悩んでいませんか。一人で抱え込まずに、お子さんの悩みについて一緒に考えてみませんか。当センターでは、子どものより良い成長のために、皆さんのニーズに応じた支援をしています。

適応指導教室「あゆみの広場」(午前9時30分～午後3時・月～金曜)

お子さんが自信を回復し、自分の力で歩いていけるようになるための心の居場所です。カウンセラーや相談員が、心のふれあいを大切にし、一人ひとりのペースや個性を尊重しながらお子さんの学校復帰や自立に向けて支援します。

教育相談＜電話相談、来所相談＞(午前9時30分～午後4時30分・月～金曜)

お子さんの学校生活についての相談を受け付けています。何でも気軽にお話してください。電話相談を受ける場合は、電話相談専用回線(☎52-0500)へお電話ください。来所相談(面接による相談)については、当センターへ来所または電話で相談日時の予約をしてください。

相談者や相談内容に関する情報が外部に漏れることはありません。また、費用は一切かかりません。悩みごと、不明な点などありましたら、まずは気軽にお電話ください。

常陸大宮市教育支援センター (〒309-2255 野中町3083-1)
電話番号 ☎52-0500 (電話相談) ☎52-0531 (代表)



学習室



相談室

子どもたちの明るい笑顔を守るため

子どもを狙った犯罪が増える中、児童が安心して学べる社会をつくるため様々な取り組みが進められています。今年度から始まったスクールサポーターや、これから活動を開始するスクールガード・リーダーもその一つです。

スクールサポーター

今年4月から県警少年課による学校訪問連絡員制度を充実させてスタートした。県内28署に1人ずつ配置され、大宮警察署管内では、警察官OBの海老澤稔さんが担当しています。

海老澤さんは、主に午前中は学校を訪問し防犯教室などを実施、夕方は下校する児童を見守るパトロールなどの活動を行っています。

海老澤さんは、「子どもたちには、何よりもまず、1人にならないことを呼びかけています」また、「広い管内に1人の配置、サポートにも限界はありません。やはり、家庭での教育や、地域の皆さんの協力が欠かせません」とおっしゃっていました。



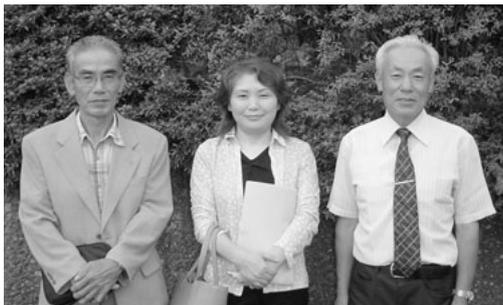
▲スクールサポーターの海老澤稔さん

スクールガード・リーダーは、幼児・児童生徒の安全を地域ぐるみで確保するために、文部科学省の学校安全指導員活用推進事業として進められるものです。

スクールガード・リーダー

リーダーは①教育機関の警備のポイントの指摘、②定期的に幼稚園や各校を巡回し、安全体制の評価と指導助言、③学校安全ボランティアの方々に警備上のポイントや不審者への対応等についての指導等を行います。

本市には3人の方が委嘱され、9月から活動を開始する予定です。見かけたときは、ぜひ一声かけてください。



▲スクールガード・リーダーの長山博實さん、蛭川恵子さん、椎名修さん(右から)